

よねだ

けんぞう

米田 建三

＝略歴＝

昭和22年 長野県生まれ
松本深志高等学校を経て
横浜市立大学商学部経済学科卒業
総合出版社・徳間書店勤務、劇画雑誌編集部 週刊アサヒ芸能記者、フリーライターを経て昭和62年、地縁・血縁ゼロの横浜市戸塚区から横浜市議員に当選。
建設大臣秘書官を経て、平成5年第40回衆議院選挙において初当選。二世でもなく官僚でもなくゼロから這い上がって来た男として注目を浴びる。以後3期連続当選。



- ・自民党国防部長代理 衆議院外務委員会理事 衆議院議員運営委員会理事
北海道開発総括政務次官 防衛庁長官政務官
小泉政権時代内閣府副大臣 (防衛・高齢者対策・規制改革・地方分権・男女共同参画社会・PKO 等所管) 歴任 衆議院議員在職中は安全保障政策の専門家として活躍。また、北朝鮮による拉致被害者救出議連の中心メンバーであった。

公益社団法人 国際経済交流協会 会長

(中小企業の海外進出アドバイザー)

日本航空学園 理事・教育顧問

役職～ 日本・セルビア交流協会理事長

元帝京平成大学 現代ライフ学部 教授就任

＝＝TV・ラジオ・雑誌＝＝

「ヨネケンズバリジャーナル」パーソナリティー平成9年4月から平成10年3月ラジオニッポン

「ビートたけしのTVタックル」(テレビ朝日)

「ミヤネ屋(主婦向けのワイドショー)」(大阪読売テレビ)

「太田光の私が総理大臣になったら…秘書田中」(日本テレビ) その他多数出演

＝＝著書＝＝

「日本の反論 ～巻頭対談 安倍晋三VS米田建三～」

その他 多数 (別紙参照)

この件に関するお問い合わせは・・・

株式会社アンカー

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目12-10 202

TEL 03-6264-3747

FAX 03-6264-3748

吉水 090-3240-7214

～米田建三 主な著作・論文リスト～

- ◆ 「男が転職を決断する時」
(エル出版・1985年)
- ◆ 「外国人参政権にあえて反対する」
(月刊「サンサーラ」・1995年6月)
- ◆ 「これでいいのか、日本の政治！」寄稿
(プレジデント社・1996年)
- ◆ 「一逆風に抗して一衆議院議員米田建三主要論文議会質問集(1)」
(自由民主党衆議院議員第六支部・2000年)
- ◆ 「一よみがえれニッポン一衆議院議員米田建三主要論文議会質問集(2)」
(自由民主党衆議院議員第六支部・2001年)
- ◆ アピール「靖国参拝反対」の薄弱な根拠
(産経新聞・2001年8月12日)
- ◆ インタビュー「有事法制」
(週刊新潮・2001年9月27日)
- ◆ インタビュー「テロ対策特別措置法案」
(世界日報・2001年10月19日)
- ◆ 論文「誇りある日本の再生一対中国外交政」
(財)日本郷友連盟機関紙2002年7月1日)
- ◆ インタビュー「有事法制関連3法案について」
(神奈川新聞・2002年8月8日)
- ◆ 「拉致議連副会長に聞く:11人の完全解決しかない」
(産経新聞・2002年9月11日)
- ◆ アピール「拉致招いた戦後日本の甘い“国是”」
(産経新聞・2002年10月22日)
- ◆ インタビュー「テロ特措法」
(明日への選択・2002年12月1日)
- ◆ 私の運命の日「同級生からの電話」
(月刊「正論」・2002年12月号)
- ◆ 会談「拉致事件一蓮池透氏×佐藤勝巳氏×米田代議士」
(SPA!・2003年1月7日)
- ◆ 「男女共同参画法の誤用一子供に子供の作り方を教える愚」
(月刊「諸君」・2003年2月号)
- ◆ 「アメリカの政府内に浮上する北朝鮮核保有容認論」
(週刊宝島・2003年)
- ◆ 「大激論ネオ国防族に日本核武装を質す！」
(SAPIO・2003年)
- ◆ 「特別インタビュー:防衛・防災・教育」
(月刊セキュリティ・2003年)
- ◆ インタビュー「金正日が両策する日本分断と日本の孤立化」
(月刊宝島・2003年7月号)
- ◆ 「内閣官房副長官・安倍晋三×内閣府副大臣・米田建三 対談一日本党醒のために、われわれは何を為すべきか」
(月刊「正論」・2003年9月号)
- ◆ 「<国家解体>法案の復活を許すな」～改めて永住外国人地方参政権の問題点を問う
(月刊「正論」・2004年4月号)
- ◆ 「これも平和ボケ！科学術情報管理の無様」機密保護政策体制の確立を急げ
(月刊「正論」・2004年7月号)
- ◆ 有事法制はできたけれど・・・「やっぱり国民を守れない安保体制の致命的欠陥」
(月刊「正論」・2004年8月号)
- ◆ 「このままでは自民党は崩壊する 保守政治は再生できるか」衆議院議員・松原仁×衆議院議員・城内実
(月刊「正論」・2004年11月号)
- ◆ 「真の脅威」中国に目を向けない新防衛大綱の行方
(月刊「正論」・2004年12月号)
- ◆ シミュレーション日本壊滅「国内原発が直面する北朝鮮テロ脅威と陸自定数削減の愚」
(月刊「正論」・2005年2月号)
- ◆ 男女共同参画「常識なき」官僚との攻防
(明日への選択・2005年2月号)
- ◆ 北朝鮮の核保有宣言と米国依存の陥罪
(月刊「正論」・2005年4月号)
- ◆ (連載1)米軍検査官が泣いた凜とした本間雅春中将夫人の「戦犯」法廷証言
(月刊「正論」・2005年7月号)
- ◆ (連載2)「殉国七土廟」に秘められた東京裁判の非道
(月刊「正論」・2005年8月号)
- ◆ (連載3)BC級戦犯裁判という名の報復虐殺
(月刊「正論」・2005年9月号)
- ◆ (連載4)戦勝国が煩被りするジェノサイド「本上空襲」
(月刊「正論」・2005年10月号)
- ◆ 「日本の反論」戦勝国の犯罪を検証する
(並木書房・2007年7月)

その他雑誌・冊子等寄稿